（第２号様式）

神奈川県教育委員会教育長　殿

令和５年４月１日

県立神奈川工業高等学校（定時制）

令和５年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　　月　　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	工業の専門性の向上を図り、実際的・体験的学習に重点を置くとともに、産業界の求める人材を育成するための新しい教育課程を編成し、学校全体でカリキュラム・マネジメントに取り組む。	①基礎学力の定着に加え、発展的な問題解決能力の育成までを視野に入れて、生徒の学習に対する意欲を高め、活用する力を育む魅力ある授業の展開を目指す。 ②生徒が主体的に課題に取り組み、専門的な知識や技能がより確かなものになるような指導を目指す。 ③授業内での生徒の情報端末の活用の機会を増やす取り組みを組織的に進めていく。	①ＴＴによる全体指導と個別指導を組合せ、きめの細かい指導を行い基礎学力の定着を図る。 ①プリントやクラスルームなどを活用することで、発展的な問題を望む生徒へ個々に対応できるようにする。 ②生徒自らが課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成が図れるような授業計画の策定や研修を行う。 ③有益な情報を職員間で共有すると共に、研究授業の開催など組織的な授業改善に努める。	①生徒自身が主体的に学習に取り組む姿勢が見られたか。授業への積極的に参加する姿勢が見られたか。 ①キャリア教育と併せて、生徒が望む進路指導や生徒の学力向上につなげることができたか。 ②学習環境の整備を進め、生徒自らが課題に取り組み解決するための指導が実践できたか。 ③授業実践のための技術や情報を共有することができたか。研究授業等において組織的に授業改善を進めることができたか。					
2	（幼児・児童・） 生徒指導・支援	①豊かな人間性の育成を図るとともに、個に応じた生徒支援と相談体制の一層の充実により生徒理解に努め、生徒が安心して学べる学校づくりを進める。 ②社会的・職業的に自立した人材の育成をめざす。 ③部活動の活性化を図る。	①個に応じた支援体制の充実をめざし、職員研修および情報共有の充実を図る。 ②生徒が参加できる学校行事の運営を目指す。	①職員研修を実施し、心の健全・身体の安全等に関する支援スキルを向上させ、生徒情報交換会等を実施し、情報共有と生徒理解を深める。 ②生徒が中心になって学校行事を運営できるように取り組む。生徒が行事を自分事化できる仕組みづくりと定時制だからできる企画に取り組む。	①生徒個々の理解を深め、個に応じた支援・指導を実施することができたか。生徒の日常行動や意識が向上したか。教員と生徒の間で信頼関係を築けたか。 ②生徒が中心となって行事の運営や実施ができたか。多くの生徒が行事に参加できたか。					

	視点	４年間の目標 （令和２年度策定）	１年間の目標	取組の内容		中間報告		学校関係者評価	総合評価（　　月　　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	（　月　日実施）	成果と課題	改善方策等
	進路指導・支援	入学から卒業までの体系化したキャリア教育を確実に実践し、社会を構成する一員としての自覚を育む進路指導・支援に取り組む。	①キャリア教育実践プログラムを基に、進路ガイダンスやＬＨＲを活用した体系的な計画を立て、生徒一人一人の進路を実現する。	①昨年度に引き続きキャリア教育実践プログラムを共有するために様々な場面で発信していく。 ①進学・就職における教員の共通認識をつくり、面での支援に取り組む。 ①年間を通して各学年の進路ガイダンスとＬＨＲの取組みを体系化する。	①キャリア教育実践プログラムの情報発信ができたか。 ①共通認識をもち、面での支援ができたか。 ①進路ガイダンスとＬＨＲの体系化ができたか。					
4	地域等との協働	地域・企業との連携・協働を通して教育活動を活性化させ、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。	①地域に根ざした学校づくりを目標に、貢献活動や地域との連携・協働していく。 ②学校ＰＲのため、定時制ホームページの更新に努め、中学生やその保護者への学校情報の発信に努める。	①10 月に地域貢献活動を実施する。 ②ホームページの更新作業を定期的に行い最新の情報を提供する。	①全校生徒が、地域貢献活動に参加できたか。 ②ホームページ更新回数が増えたか。学校説明会において本校の教育内容が理解されたかをアンケートで理解が得られているか。					
5	学校管理 学校運営	①事故防止の徹底に取り組むとともに、防災意識を高め学校防災力の向上を図る。 ②生徒と向き合う時間を確保するため、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①常に危機管理意識を持ち信頼される学校づくりを目指す。 ②ＩＣＴや教育データー等を有効活用し業務を効率的に行い生徒に向き合う時間を確保する。	①私費会計処理の適正処理を徹底する。 ①職員会議前に不祥事防止研修会を行い事故の未然防止に努める。 ②職員連絡ツール（Teams）を活用し、業務連絡を効率化する。	①私費会計監査の指摘事項及び不祥事がゼロであったか。 ①年２回防災訓練を実施できたか。１学年にＤＩＧ訓練が実施できたか ②Teams 掲示板を有効活用し業務の効率化が図れているか。 ②面談週間等の時間の確保が取れたか					